

# 「精神障害にも対応した 地域包括ケアシステムの構築」

江戸川区役所 健康部  
保健予防課 精神保健係  
内本 憲秀

# 江戸川区の特徴

2



水に囲まれた緑豊かな町

令和5年4月現在

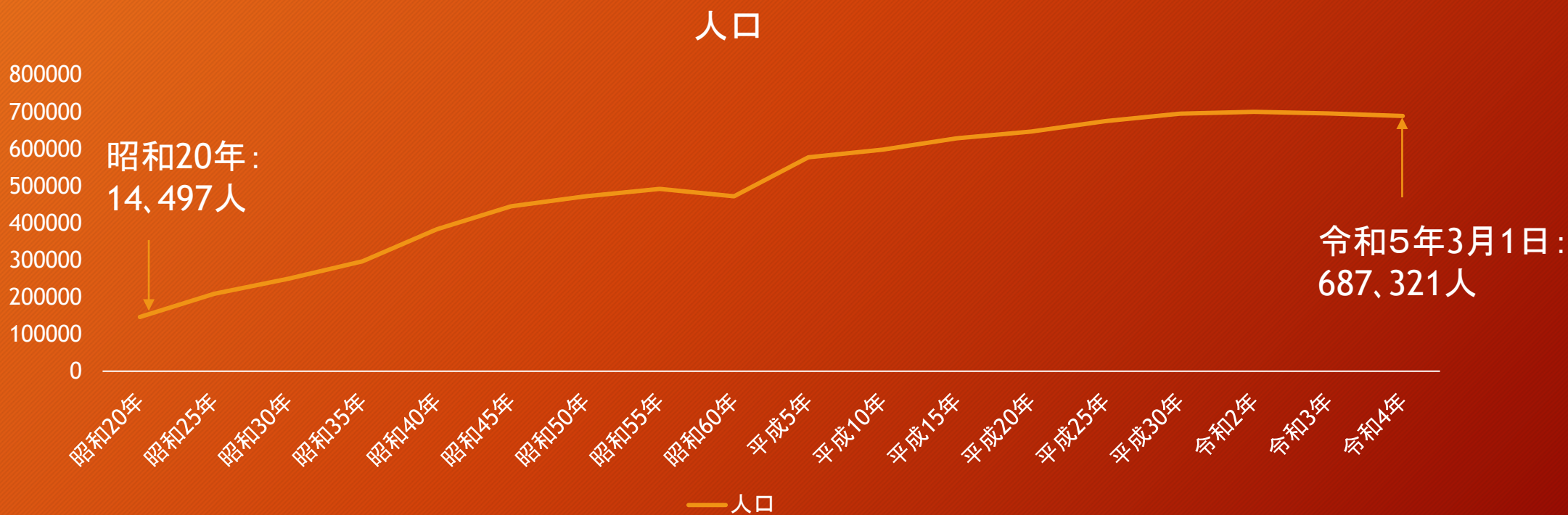
総面積: 49.09平方キロメートル(南北13キロ、東西8キロ)

江戸川区は、荒川や江戸川など大河川の最下流に位置しています。

# 江戸川区の人口

3

人口・・・689,277人（令和4年5月1日現在）



日本語版

# 江戸川区 ハザードマップ

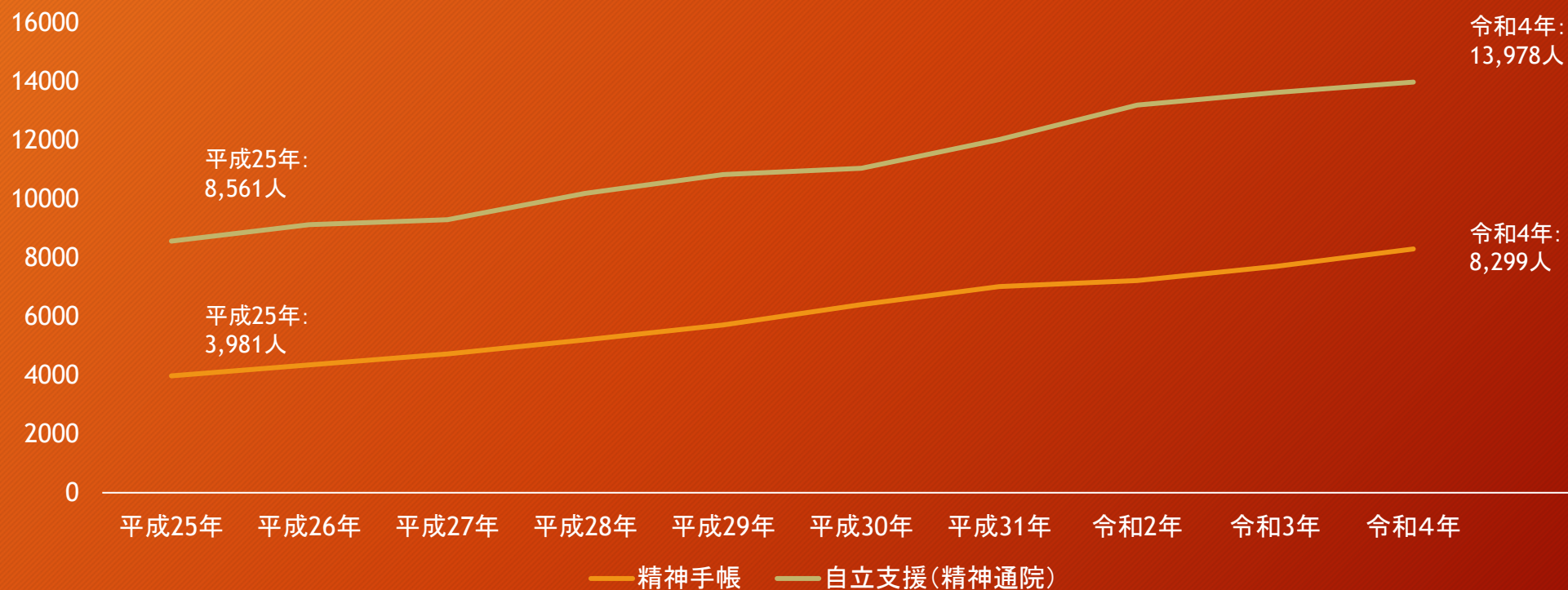
水害  
洪水・高潮



# 精神疾患をお持ちの方(江戸川区)

5

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)所持者の推移



# 精神科医療に関する統計

6

## 精神科病院数及び精神病床数

	区	病院数	病床数	人口万対病床数
区東部	墨田区	1	36	1.3
	江東区	1	126	2.5
	江戸川区	0	0	—

# 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業

## ② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業

- 国において、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に実践経験のあるアドバイザー（広域・都道府県等密着）から構成される組織を設置する。
- 都道府県・指定都市・特別区は、広域アドバイザーのアドバイスを受けながら、都道府県等密着アドバイザーや構築推進サポーター等と連携し、障害保健福祉圏域（障害保健福祉圏域・保健所設置市）及び市町村における、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する。
- 関係者間で情報やノウハウの共有化を図るため、ポータルサイトの設置等を行う。

### 1.アドバイザーの主な役割

#### <広域アドバイザー>

- 保健・医療・福祉それぞれの分野における「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に係る取組の実践経験を活かし、同システムの構築に係る取組が推進されるよう、参加主体及び都道府県等密着アドバイザーや構築推進サポーター等に対し相談・助言・支援を行う。

#### <都道府県等密着アドバイザー・構築推進サポーター等>

- 広域アドバイザー及び都道府県等の担当者と協力しながら障害保健福祉圏域及び市町村における課題解決に向けた具体的な相談・助言・支援を行う。

### 2.都道府県・指定都市・特別区の主な役割

- 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に資する取組の実践
- 障害保健福祉圏域（障害保健福祉圏域・保健所設置市）や市町村の取組状況の把握、事業メニュー活用検討
- 都道府県等密着ADの選定・国への推薦または構築推進サポーターの活用促進
- 全国会議への参加
- 事例集の作成等、当事業への協力

江戸川区はH30～構築支援事業に参加

# 江戸川区における歩み

H30年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業開始

## 「地域移行支援の推進」

コア会議・地域移行推進会議開催／相談支援事業所に働きかけ、  
地域移行に取り組む事業所を増やす／江戸川区精神保健福祉協  
議会(協議の場)の実施

R1年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業継続

## 「住みやすい地域に」

コア会議・地域移行推進会議継続／江戸川区精神保健福祉協議会(協議の場)の継続／  
精神科医療機関にて地域移行説明会の実施

R2年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業継続

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業開始

## 「持続可能なしくみ作り」

コア会議・地域移行推進会議継続／江戸川区精神保健福祉協議会(協議の場)の継続  
／ピアサポーター事業開始・居住支援事業の拡充・東京都ショートステイ事業の受託  
／精神科協力医療機関の打診・今後の体制作りについて検討開始



# 密着アドバイザーの選任

9

## 開始当時の江戸川区の状況

- ◎区内事業者と行政に信頼関係があり連携が取れている。
  - ・気軽に話ができる関係性ができている。
- ◎有志の連絡会などネットワークが構築されていた。
  - ・同一業態の事業所間での連携が既にとれていた。
- 江戸川区委託事業が充実している。(居住、就労、安定化、ピアサポーター育成等)
- 地域活動支援センター1型(4か所)Ⅲ型(3か所)開設している。



各事業所に広く見識があり、スキルが高い方を選任

# 密着アドバイザーの選任

10

## <要件>

- ・「にも包括」の密着アドバイザーになりたいという希望がある。
- ・区の障害者の方々の生活向上意識が高い。
- ・「にも包括」の理解度。
- ・江戸川区に拠点がある事業所にて活動している。
- ・ファシリテーター的なスキルがある。
- ・医療機関、各通所事業所、グループホームなどに見識がある。
- ・行政と関係性が良好。

# 江戸川区での密着アドバイザーへの期待

11

## ◎地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

- ・持続可能な仕組みづくり

## ○各会議体(点在している連絡会、会議等々)の集約、面的な整理

- ・協議の場の整備

## ○医療機関と、支援側との連携構築

- ・地域移行支援推進
- ・ニーズ調査

## ○ピアサポーターの養成

- ・地域移行支援でのピアサポーター活用

# 今後の進め方について……

## 江戸川区の強み

- ・区内事業者と行政に信頼関係があり連携が取れている。
- ・有志の連絡会などネットワークが構築されている。
- ・江戸川区委託事業が充実している。(居住、就労、安定化、ピアサポーター育成等)
- ・地域活動支援センター1型(4か所)
- ・区内8か所に健康サポートセンターがあり地区担当保健師が存在する。

## 江戸川区での課題

- ・医療機関と地域との連携
- ・精神障害に対する理解の不足
- ・有志での連絡会等継続性
- ・**地域課題を共有、解決していく場が不足している。**

<ワーキンググループ設立>

# ワーキンググループについて

## ワーキンググループ全体目的

精神障害をお持ちの方々が地域の一員として安心して暮らすことができるまち  
(誰にとっても暮らしやすい地域づくり)

## 目標

- ・地域課題を解決するために持続的かつ具体的なアクションを起こす

## ワーキンググループ参加者

- ・アドバイザー
- ・委託事業担当者(居住支援、ピアサポート等)
- ・コア会議メンバー
- ・各連絡会(江相連)等

# ワーキンググループの目標

14

## 普及啓発

精神保健分野にとどまらず  
介護・教育等の他分野への理解促進  
一般区民との交流・普及啓発

## 医療連携

より安心して医療機関を利用するための  
連携を構築する。

## 住まう

精神障害があっても安心して  
地域に住み続けられること  
自分らしく暮らし日々を過ごすことが  
できる活動、活躍の場作り

## ピアサポート

ピアサポーターの育成と仲間同士  
のつながり・支え合い作り

# 今年度活動状況＜普及啓発グループ＞

15

目標：他分野との交流と一般区民への普及啓発を行う。

◎江戸川区内「なごみの家」との連携

◎江戸川区主催の講演会をワーキンググループで企画

# 今年度活動状況＜普及啓発グループ＞

16

## 「なごみの家」

- ・ なごみの家は「地域包括ケアシステムの拠点として開設」

高齢者だけでなく、子どもや障がい者など誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、「なんでも相談」「交流の場」「地域ネットワーク作り」の機能を併せ持つ地域福祉の拠点として開設。

現在は、北小岩、小岩、鹿骨、瑞江、松江北、一之江、長嶋桑川、葛西南部、小松川平井  
9か所運営中



# 今年度活動状況＜普及啓発グループ＞

17

## ＜今年度の取り組み＞

### ◎江戸川区内「なごみの家」との連携

- ・現在区内9か所に点在しており、精神障害者の利用頻度も年々増加。  
(困難事例、対応方法、電話対応、等々困りごと増加)
- ・「なごみの家」へワーキンググループで伺い、精神対応の困りごとを聞き取り、検討する機会を各所へ伺いし対応。  
(ワーキングメンバーによるアポイント、打合せにて実現)

### ◎ワーキンググループにて企画、区民向け講演会の開催

- ・医療連携ワーキングと連携しながら、講師を依頼中
- ・1月末一般向け講演会開催に向け準備中

# 今年度活動状況＜医療連携＞

18

今年度目標：江戸川区における精神科医療と保健医療福祉等  
各関係機関との連携を促進すること。

今年度の取り組み：江戸川区内の医療機関と連携を深める。

○江戸川区内のすべての医療機関へアプローチする。



**心の健康ガイドブック作成**

# 心の健康ガイドブックとは・・・

19



心の健康ガイドブックというツールを活用し、医療機関部分のリバイスを行う。

江戸川区では区民の方へ精神保健医療福祉社会資源の情報提供、啓発の為「えどがわ心の健康ガイドブック」を作成

このガイドブックを、よりスケールアップし広める。

ホームページでPDFで展開予定。

# 今年度活動状況<住まうグループ>

目標：精神障害者が一人暮らしの住まいを探しやすくする。

<現状>

◎賃貸物件が借りづらい。

(精神障害者ということと言うとスムーズに入居できない)

<ワーキンググループの取り組み>

◎区関係者、就労支援関係者、区委託事業居住支援関係者、区内グループホーム関係者をメンバーとして活動を開始。

◇区内の状況を把握◇

精神障害者の方が一人暮らし、物件探しが難航する理由は何か？

区委託事業担当者から**利用頻度の高い不動産管理会社を紹介**頂いた。

◇**不動産業界の状況、借りづらさの原因、生の声を聴いた。**



## ～ワーキンググループで不動産事業者からの情報提供～

◎ 大家さんが空室募集の際に・・・

家賃、敷金、礼金、更新料とあわせて、NG入居者を決める。  
(高齢者、**精神障害者**、外国人、生活保護)

大家さんが困る3大要因

- ① 家賃が入らない。
- ② 近隣住民からの苦情
- ③ ゴミ関係

## ～ワーキンググループで不動産事業者からの情報提供～

### ◎ 大家さんから見た、なぜ精神障害者がNGなのか？

- ・ 他の入居者に迷惑がかかる。

（騒音問題、ゴミ屋敷、自殺、奇声、話ができない。）

- ・ 知り合いの大家さんからのアドバイス。

（大家さんコミュニティで成功している方からの情報収集から学び信頼している。）

- ・ 家族が反対した。（理由はほぼなし）

- ・ 資産価値が下がる（精神だから・・・イメージ）

**管理会社も同様の考え方が多い。事件が起きる、面倒。入居されたら困るイメージを持っている。**

**とにかくよくわからない、怖いから入居を断る理由を探している**

**大家さん、不動産管理会社、保証会社の理解度向上と普及啓発が重要。**

◎不動産関係者ワーキンググループへ合流

**★区内管理会社代表をワーキンググループメンバーへ**

◎不動産関係者からの情報提供で目標設定。

**「区内管理会社へ訪問を行う。」**

- ・区内不動産事業者へ懸念事項を一つでも払拭する普及啓発と情報収集が目的
- ・区委託事業のPRと1月末に行う居住支援講演会への参加要請。



今年度予定している管理会社を今後も毎月訪問予定

# 今年度活動状況<ピアサポートグループ>

24

目標：『雇用だけではないピアの活躍の場を開拓する』

## 令和5年度活動内容

- 仲間活動を知る（区内ピアサポーターが活躍している事業所を開拓）
- ピアサポーターグループとしての企画・立案
- ワーキンググループへのピアサポーターの参加



## ◎ 仲間活動を知る。

### ○ 支援関係者などに情報収集。

- ・ ピア活動と気づかず、ピア活動をしている方の掘り起こし
- ・ 相談支援事業所等々へ情報収集

### ○ 地域活動支援センター等通所事業所、ピア活動を行っているところを調査

- ・ ピア育成事業への参加（リカバリーストーリー発表会など）
- ・ 各センターにて利用者参加の運営会議、茶話会などへ参加

# ピアサポートグループ

26

## ◎ピアサポートグループとしての企画

テーマ：精神障害者当事者の意見を聞いてみたい。



- ・当事者の方へのアンケートの実施  
ピアサポーターを中心にグループメンバーでアンケートを作成  
各事業所等へ配布

現在回収、集計中。=> どういったところが不足しているか、  
どういった支援を必要としているか、情報収集。

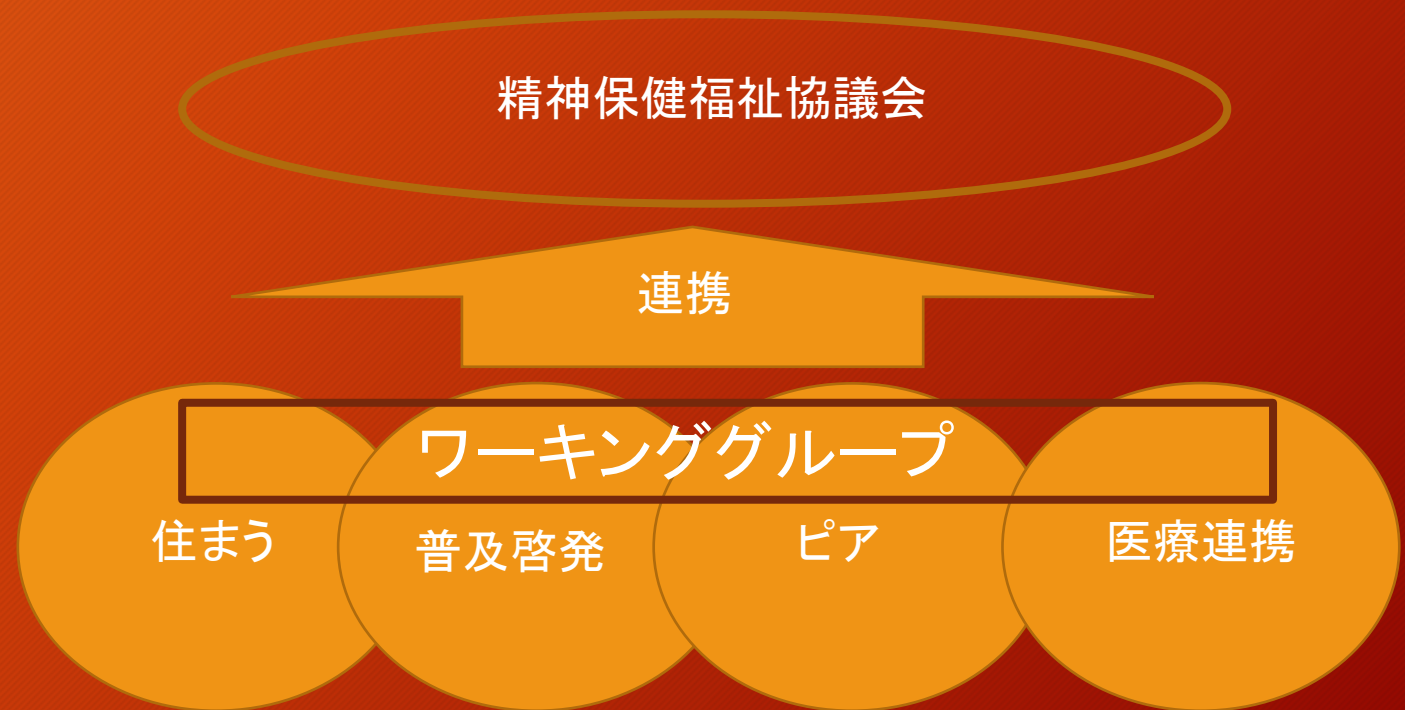
今後の施策に生かしていきたい

## ●精神保健福祉連絡協議会

### <参加者>

- ・保健医療関係者
- ・関係行政機関
- ・民生、児童委員
- ・障害当事者
- ・就労支援担当者
- ・居住支援関係者
- ・相談支援事業者
- ・障害福祉サービス事業者
- ・江戸川区社会福祉協議会
- ・江戸川区職員

※密着アドバイザーも委員に委嘱



○自立支援協議会へ提案、連携

# 自立支援協議会開催状況

28

- 平成30年度 現在の状況報告と今後の取組み
- 令和元年度 措置入院患者の対応、区事業の共有
- 令和2年度 報告（書面開催）
- 令和3年度 報告（書面開催）

# 令和5年度の取組み予定

29

- 保健・医療・福祉関係者による協議（精神保健福祉協議会）
- 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進するため地域社会の整備を推進
- 地域移行、地域定着の取組み強化
- ピアサポーターの育成及び活動の推進
- 居住支援の強化
- 普及啓発のさらなる推進

# 最後に・・・

30

江戸川区では、10年以上前から精神障害に向き合う力のある事業所が活動していました。地域資源を最大限引き出すには？

- ・江戸川区としては、地域で活動されている事業者をどうすれば応援できるか？
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて取り組んでいる方々が気持ちよく仕事をするためには、何が必要なのか？

障害当事者に対する支援はもちろんですが、支援者に対する視点をもっと見る必要があると考えています。

**各アドバイザーの皆様、いつもご尽力ありがとうございます。**

ご清聴 ありがとうございます。